

6 建物や風景を撮影するコツ

旅行先で見たすてきな建物や風景も写真に残しておく、あとから旅先の発見や感動を思い出すヒントになります。建物や風景を撮影するときは、次の点に気を付けましょう。

●建物は下から撮影する

建物を中心に撮影するときは、できるだけ建物の近くから、建物を見上げるように撮影するとよいでしょう。建物の大きさや迫力が伝わります。



東京タワーの足元から、デジタルカメラをかなり上向きにして撮影しています。東京タワーの先端まで入るようにするのがポイントです。



たくさんの柱の迫力が伝わるように、柱を見上げる形で撮影しています。建物の美しさを表現するために、屋根の先端と写真の上端の間に余白を残しておくのがポイントです。

●風景は後ろに下がって撮影する

風景を撮影するときは、できるだけ後ろに下がって撮影しましょう。後ろに下がった上で、見える風景全体が写真の中に収まるように、撮影する位置なども調整します。



カナダの湖を撮影した写真です。湖の水平線と、デジタルカメラを水平に撮影すると安定した写真になります。



場所の関係上、後ろに下がって撮影できないときは斜めの位置から撮影してみましょう。この場合、左上から右下に向かって視線が流れるように撮影すると安定した写真になります。



高原から近くの山々を撮影した写真です。空と風景の量を半分ずつくらいにすると、奥行きが表現できます。



富士山を撮影した写真です。富士山を中心に配置せず、全体の1/3くらいに配置することでバランスが良くなります。

7 食べ物を撮影するコツ

上手に作れた料理や、レストランで注文した料理も、写真に残しておきたいもののひとつです。料理を撮影するときは、次の点に気を付けると一層おいしそうに撮影することができます。

●角度やズームにこだわる

真上から撮影すると、料理の立体感が伝わりません。斜め上から撮影すると料理ひとつひとつの立体感が伝わります。また、写真からお皿がはみ出るくらいに撮影すると、お皿の上の料理の迫力が伝わり、全体のバランスも良くなります。



斜め上から撮影することで、ケーキの立体感を表現できます。また、お皿の余白部分を手前に配置することで、お皿の中の奥行きも表現できます。



料理にぐっと近付くことで、フルーツのみずみずしさが表現できます。